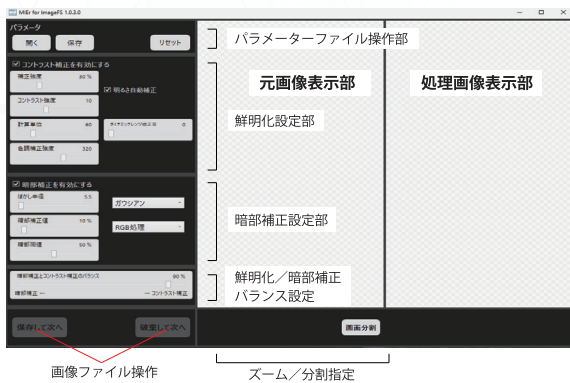


MIer for ImageFS

MIer for ImageFSは、一般的なイメージファイリングシステムと連携し、さまざまな光学機器で撮影された不鮮明な画像ファイル（露出不足、ハレーション、低コントラストなど）に対してダイナミックレンジ拡張をはじめとする各種画像処理を施すことで鮮明化を行い、より詳細に可視化した画像ファイルの生成を目的としたアプリケーションツールです

鮮明化処理の操作方法

操作画面

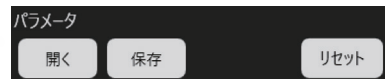


画像ファイル操作

ズーム/分割指定

処理パラメータについて

パラメータを設定し、画面左上のボタンを押すことで、初期値のパラメータファイルを変更・保存することができます。



画面の分割操作

「画面分割」をクリックすると、以下の順で画面の配置が変わります。

- ①左：元画像／右：処理画像
- ②上：元画像／下：処理画像
- ③処理画像のみ



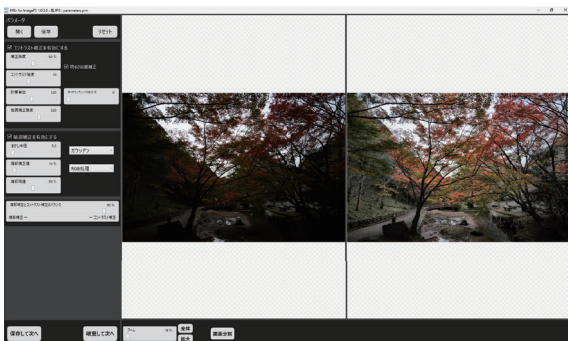
監視設定

ご使用のイメージファイリングシステムの手順および取扱説明書の手順に従って各種監視設定を行ってください。



画像の読み込み

監視対象フォルダに画像が作成されると自動的に画像が開きます。
※対応画像ファイル：JPEG、BMP、PNG、TIFF



画像のズーム操作

画像の表示部分は任意の大ききで任意の位置を表示することができます。ズームのスライダーをドラッグすることで映像の拡大率が変化します。「全体」：画像全体が画面に収まるようにズームを自動調整します。「拡大」：画像の短い辺が画面に収まるようにズームを自動調整します。



動作環境

- OS : Microsoft®Windows10 (64bit 版) 以降
- メモリ : 8GB 以上 推奨
- USB : 起動用 ドングルの挿入用として USB2.0 ポート (必須)
- ディスプレイ : (解像度)1600 × 900 以上 (色深度) 32bit True color
- CPU : Intel®Core i5 3.6GHz または 互換 CPU 以上 (推奨)
- 空きディスク容量 : 500MB 以上 (推奨)

鮮明化パラメータ設定方法

画像読み込み時の画像処理初期パラメータは、画像と同フォルダにある画像処理パラメータファイル(parameters.prm)の内容が適用されます。その後、画面左側にあるコントラスト補正、暗部補正、コントラスト補正と暗部補正のバランスの各コントロールを利用して調整します。

補正強度

鮮明化の強度を調整します。スライダーの最も左が強度0となり元画像と同じ画像です。最も右が強度100%となり最大の強調画像です。この間を任意で調整できます。



計算単位

鮮明化の計算をどの程度の範囲で均一化するかを調整します。数値を大きくすると細かい小さな変化が省略されて大局観を捉えやすい画像になります。数値を小さくすると細かい小さな変化も捉えて微細な構造まで可視化されます。



コントラスト強度

鮮明化処理のコントラストの変動の強さを調整します。鮮明化処理を行うとコントラストを均一化するため、何も無い箇所(コントラストがほとんどない)ではコントラストが大きく変動し、ノイズ画面になってしまいます。これを軽減するためコントラストの変動に上限を設けます。



色調補正強度

鮮明化処理によって彩度が落ちた画像に対して、彩度を復元する量を示します。256で元画像と同じ色情報になりますが鮮明化によって輝度に変化しているため彩度は落ちています。通常は320程度の値で使用します。赤色が目立ちすぎる場合などは値を調整してください。



暗部補正 (MIer フラット補正処理)

明暗差の大きい画像ではコントラスト補正だけでは明るさが最適化されません。「暗部補正」は明暗差の大きい画像に対して、あらかじめ暗部だけ適応的に明るく補正して鮮明化画像と合成する機能です。



・暗部補正のパラメータ

ぼかし半径: 小さいほど細かい暗部まで補正します。
 暗部補正值: 暗部をどの程度明るくするかを表します。値が小さいほど明るくなります。
 暗部閾値: この値以下の明るさの画素を補正の対象とします。全体的に暗い画像だと値を小さくして過剰補正を抑制した方がいい場合があります。
 ガウシアン/ぼかし: 通常は必ずガウシアンを選択してください。
 RGB/輝度処理: 通常はRGBを選択してください。暗い画像などで彩度が濃い場合は輝度を選択します。
 ※暗部補正のパラメータはデフォルトのままで使用して、必要な場合だけ調整してください。

処理結果の保存と処理

鮮画面左下の「保存して次へ」ボタンをクリックすると、処理結果画像を保存します。保存先フォルダは監視設定で設定した出力先フォルダで、ファイル名およびファイル形式は元画像と同じです。ファイルの作成日時、および更新日時も元画像と同じ内容に設定されます。保存後は、画像処理中に監視対象フォルダに作成された画像があれば読み込んで表示し、なければウィンドウを最小化して待機状態になります。その際、元画像は破棄されます。「破棄して次へ」ボタンをクリックすると、現在の処理内容は破棄し、画像処理中に監視対象フォルダに作成された画像があれば読み込んで表示します。なければウィンドウを最小化して待機状態になります。その際、元画像は破棄されます。

保存して次へ

破棄して次へ

カタログ上の注意

- ・本カタログの記載内容は2024年11月現在のものです。
- ・操作方法とパラメータ設定の等の詳細については、取扱説明書をご参照ください。都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更する場合があります。
- ・当社の許可なしに、このカタログ記述内容をいかなる形式でもコピーすることはできません。
- ・このカタログに記載されている社名、ロゴ、写真等の登録商標および 使用権利は全て当社に帰属します。